

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成28年3月号 No.106

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

名古屋木材組合主催 『研修会』開催 共催：(一社)愛知県木材組合連合会、愛知県木材買方協同組合

平成28年1月28日(木)午後3時30分から名古屋市中区のKKRホテル名古屋において、皆川芳嗣氏(農林水産省顧問)と小島孝文氏(林野庁木材産業課長)を招き、当組合主催の研修会が、組合員関係者等100名余が参加して開催された。

最初に名古屋木材組合 鈴木和雄組合長のあいさつに続き、皆川氏が「地方創生と林業の成長産業化について」～国産材の新しい時代に向けて～の講演を行った。その中で皆川氏は林業の成長産業化を果たし、地方



鈴木和雄 組合長



皆川芳嗣 農林水産省顧問

創生に貢献していくことは国の重要施策であるとし、林業の成長産業化には木材需要の創出と国産材需要拡大策として1.住宅分野における国産材の利用推進 2.公共建築物等における木材利用の拡大 3.非住宅分野の木造・木質化 4.木質バイオマスのエネルギー利用を挙げた。また、CLTや木質系耐火部材の新たな部材の開発・普及状況、オリンピック・パラリンピック関連施設における木材の利用などを説明した。

そして「林業の成長産業化は十分に達成できる状況になってきている。川上から川中・川下にわたり連携を強化し、Win-Winとなるサプライチェーンの構築が重要で、川上と川下をつなぐコーディネート機能の強化が必要」と語った。

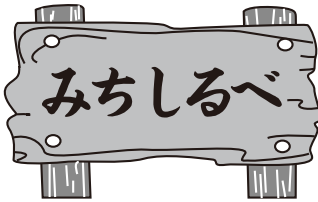


小島孝文 林野庁木材産業課長



続いて小島氏が「森林認証とTPPについて」の講演会を行い、氏は近年のオリンピックでは木材調達には森林認証材に限られており、東京大会では組織委員会が木材を含む調達方針を今年度末を目途に作成予定となっている状況を説明。わが国では国際認証制度のFSCは39万haの森林が、日本独自のSGECは126万haを取得していると説明し合わせて165万haあり、東京大会関連の需要量はまかなえたと述べた。

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



心貧しき時代

名古屋港木材産業協同組合
理事長 嶺 木 昌 行

昨年の秋、国立大学に文科系の学部・学科は不要か？との見解が文部科学省から発信され、一時期物議を醸した。

私も国立N大学の経済学部を卒業しており、母校が無くなってしまうのかと少し驚きもしたが、一方で廃止論に賛成な面と反対の面の二面を思わざるを得ない。

私は、母校の経済学部のOB会の副会長を現在務めているが、第一にOBとして見た場合、教授も学生も決して褒められた存在ではなく、税金の無駄使いと言われても仕方ないと思われる。彼らは研究のための研究に入り込み、何をやろうとしているのかが私の目には見えてこない。一方で、国立大学に限らず、文科系学科を廃止することには全くもって反対である。というより、現在のような体たらくな文科系学部を作ってしまったことを深く反省し、かつてのようなダイナミックな文科系学部を再創造することが日本の急務であると思う。

その理由は、人間や人間社会の成長・発展には物質的成長と精神的成長の両方が必要であり、かつそのバランスが大切であるのに、現在の日本及び世界は物質的には発展しすぎ、結果今回の文部科学省発言のごとく、理科系偏重の驕った社会を形成してしまっているからである。文科省に限らず、宗教家・哲学者、そして文科系教授たちの心の貧しさを理由に挙げなければならないだろう。母校経済学部を見ても、教授や学生の志の貧しさを痛感せざるを得ない。

志を失った国家は滅びる。文科系とは志を育てる学問である。志を持って理科系を統率するのが文科系の学問ではないだろうか。「学問の究極は戦いの道を選ばないことである」と誰かに聞いたことがある。理科が進むと人を傷つけ、人を殺すような歪んだ発展が起きやすい。これを制御するのが文科系学問であり、それは平和と共存の追求がテーマである。文科系・理科系に限らず、自己の志を再度打ち立てることが、平和と共存の社会を創造する基本となると思う。日本人の志を世界が必要とする時代になって行きそうだ。

恭子のワーキングライフ

“ カウントダウン ”

G7伊勢志摩サミット開催までの“カウントダウン”が始まり、開催地の三重県や空の玄関口である中部国際空港（セントレア）では歓迎準備が着々と進められています。その様子が新聞記事やニュースで放映されて以来、いよいよ歓迎機運が高まり“カウントダウン”の雰囲気各所各方面から感じられるようになりました。

毎年、アメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・イタリア・カナダ・日本の7か国の首脳並びに欧州理事会議長及び欧州委員会委員長が参加して、各国が持ち回りで議長国を務めて開催される首脳会議（＝G7サミット）。5月26日～27日に日本は6回目の議長国として主催することになり、洞爺湖サミット以来8年ぶりにアジアで主要国首脳会議が開催されます。各国首脳のリーダーシップにより、世界経済・政治などの国際社会の問題、環境・気候変動・エネルギーなどの地球規模の問題など多岐に亘る議論がなされるようです。その重要な政策協調の場で、国境を越えた自由闊達な意見交換をして、迅速な国際問題解決に繋がることを誰しもが願っていることでしょう。

また、4月から9月の期間（G7伊勢志摩サミット開催前後の日程）で、関連会合が日本各地で開催される予定です。特に三重県では、海外からの大勢の来賓や報道関係者を「和の心」でもてなし、日本人の心のふるさと（＝伊勢）の地で、日本の歴史や風土、日本民族の伝統や文化の魅力、豊富な海の幸や風光明媚な景色の魅力などの発信が大いに期待されていることでしょう。

私は“カウントダウン”のフレーズを耳にして、「この機会に、もっと日本の魅力をアピールしたい」という思いと共に、日本人として日本の良さを認識していない自分に気付かされました。今では「日本の魅力再発見」をする探訪の旅に出掛けてみたい衝動に駆られています。

さて皆様はどのように感じていらっしゃいますか?!

木場すずめ

『伊万里転勤の思い出』

飛島勤務より転勤のため2年間、佐賀県伊万里市に赴任し、また飛島に戻って参りましたので、この機会に紹介させていただきます。

名古屋から850km離れており、福岡空港から高速バスで伊万里まで約2時間、日本の本土最西端に近い場所で、自然と歴史の豊富なところでした。

伊万里というと伊万里焼が有名ですが、400年前に隣の有田で作られていた陶器（古伊万里）を伊万里港から西欧諸国に向けて出荷していたことから伊万里焼と呼ばれるようになりました。

有田にあった鍋島藩窯が伊万里の大川内山に移され、中国の風水画にあるような断崖絶壁の山の麓に関所を設け、陶工が逃げられないような集落で鍋島藩や大名向けの陶器を製造していました。明治になると民間窯に代わり、現在まで多数の窯元が陶磁器を製造販売しています。白い陶磁器に手書きで絵付けしてあるものが多く、大変繊細な柄です。

伊万里市では焼き物のほか、伊万里牛、伊万里梨など特産品も多く、お米や魚などおいしく新鮮なものが安く買えます。酒は焼酎がうまうま、私は転勤してから焼酎党になってしまいました。

会社の岸壁から海を望むと対岸の鷹島には海底遺跡があり、元寇のモンゴル船、2隻目を調査中。鷹島の資料館には引き上げられた船の骨組みや文物、「てつはう」など教科書で習ったものが並んでおり、700年前のまま海底の泥の下に埋まっているのが驚きでした。また鷹島はモンゴル軍により全滅の憂き目にあったため、島内各所に鎮魂の碑などがあり、当時の島民の無念さがそのまま残っていました。ここでモンゴル軍が沈んだのはいわゆる「神風」（台風）と松浦半島周辺の水軍で源氏の末裔を始祖とする松浦党の活躍があったためとのことです。現在、鷹島にはモンゴル友好の証としてモンゴル村があり、ゲルに泊まる事もできます。

少し足を伸ばせば、長崎の出島以前にオランダ商館のあった平戸があり、当時は松浦氏が貿易で莫大な富を築き、壮麗な城があったとのこと。キリスト教も広まり、現在では教会と寺が並ぶ珍しい風景の観光地となっています。平戸観光協会のイベントで地元の教会のX'masミサに参加することができた時、ミサの声のかけあい半端なく合っていて、信仰心の強さを感じさせてくれました。これは隠れキリシタンとして生きてきた人々の末裔だからなのか、生きた歴史を感じさせてくれました。

近隣には嬉野、武雄、雲仙など良い温泉が多数あり、自然の絶景ポイントが数多くありました。皆さんも機会がありましたら是非九州ツアーはいかがでしょうか。また伊万里市、平戸市などふるさと納税の返礼品が良い自治体が多く、こちらもおすすりめです。

※「てつはう」（鉄砲）とは、鎌倉時代の元寇で、元軍が使用した陶器などに火薬や鉄片をつめた武器。炸裂弾。銃が伝来してのち、これに「鉄砲」の字を当てたと云う。

お知らせ

☆☆☆ 名古屋港貯木場施設の地震津波に対する防災訓練が実施されました ☆☆☆

南海トラフ地震等に係る地震防災計画に基づき、平成28年3月3日(木)名古屋港貯木場防災対策委員会(委員長 野間順一、副委員長 嶺木昌行)による貯木場防災訓練が実施されました。委員長のおあいさつの後、防災無線を使用した情報伝達訓練、映像研修を行い、訓練場を陸上貯木場に移し、製材品の転落防止の訓練が行われました。また、その後名古屋港木材会館にて、安藤一弘担当部長(名古屋港管理組合総務部危機管理室)による、「名古屋港の防災」の講話があり、防災訓練を終わりました。ご参加ありがとうございました。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

「オレは誰?」 STOP特殊詐欺! オレオレ詐欺に注意!

だまされないで!! こんな電話は詐欺です

息子・娘・孫からの電話

- 携帯電話を無くした/番号が変わった ○風邪をひいた ○小切手や通帳を無くした/お金を使いこんだ
- 未公開株に手を出した ○今日中に現金が必要 ○誰にも言わないで

役所等公的機関や銀行等金融機関からの電話

- 医療費や税金の還付があるので携帯電話とキャッシュカードを持ってATMで手続きを

警察・金融機関からの電話

- 口座が犯罪に使われている ○キャッシュカードや預貯金を預かります
- 口座番号や暗証番号を教えてください

※該当項目があれば、すぐに家族や警察に相談を!

◆ 広告コーナー



FUJITRANS

総合物流企業
フジトランス コーポレーション

代表取締役社長 系井 辰夫
名古屋市港区入船1-7-41 〒455-0032
TEL 052 - 653 - 3111
<http://www.fujitrans.co.jp>



HITACHI
Reliable solutions

ガード付き配管
キャブ前面ガード (ZAXIS 120はオプション)

建屋メッシュカバー (ハーベスタプロセッサパック/クラブパック)

林業パッケージ
ZAXIS 75US / ZAXIS 120
ZAXIS 135US

多様化する林業のニーズに応じて、4つの「お得」をパッケージ!
①充実の標準装備品 ②メンテナンス性の向上 ③品質アップ ④充実したサービス

ハーベスタプロセッサパック クラブルパック スイングヤーダパック (フレード付)

日立建機日本株式会社
岐阜支店 関営業所 〒501-3930 岐阜県関市倉知南1
TEL 0575-24-6230 FAX 0575-24-5011 <http://www.hitachi-kenki.co.jp/>

発行 名古屋木材組合
発行者 鈴木和雄
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 嶺木昌行
〒490-1444 海部郡飛鳥村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会